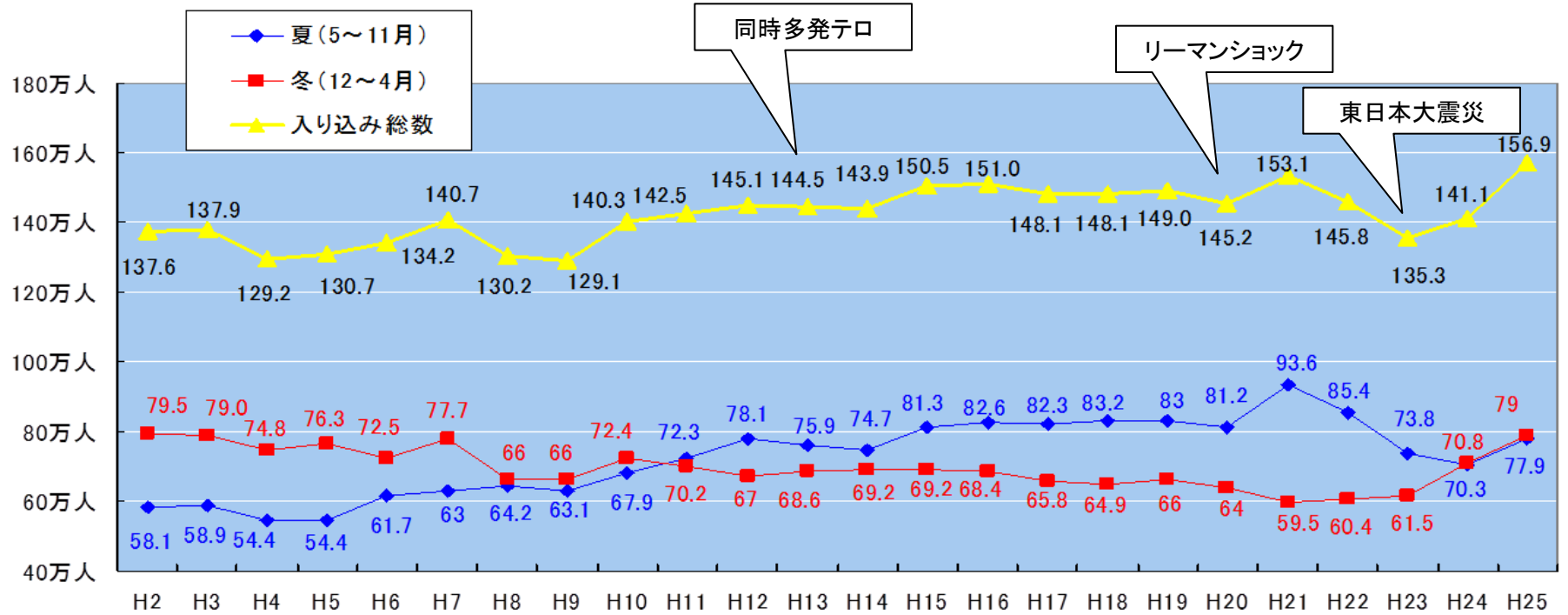


ニセコ町の観光客入込状況、現状と課題 および H27観光振興政策・予算の概要

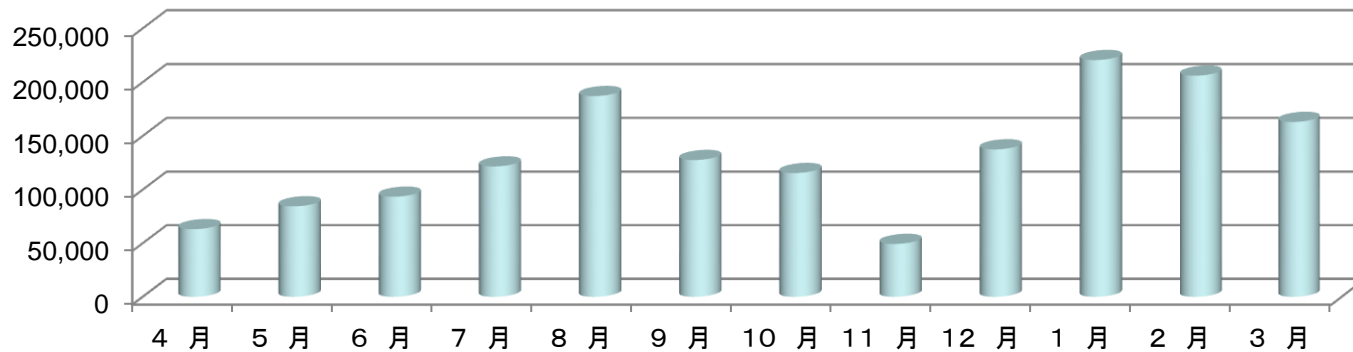
平成27年3月
商工観光課



観光客入込状況の推移(ニセコ町)

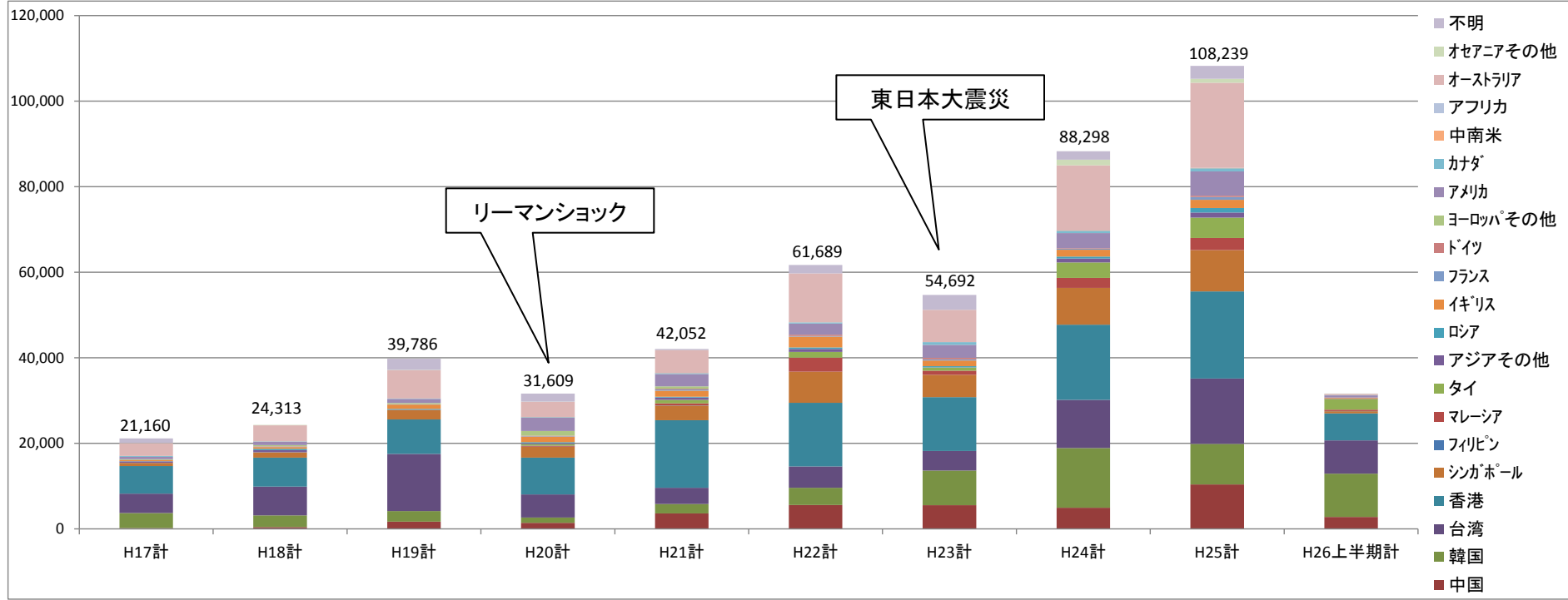


H25入込総数



外国人観光客入込状況の推移(ニセコ町)

年度	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	フィリピン	マレーシア	タイ	アジアその他	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	ヨーロッパその他	アメリカ	カナダ	中南米	アフリカ	オーストラリア	オセアニアその他	不明	計
H17計	199	3,489	4,544	6,450	751	0			366	30	230	32	34	173	548	195	5	3	2,987	35	1,089	21,160
H18計	403	2,751	6,744	6,764	1,234	50			463	284	453	92	86	261	761	114	14	5	3,720	114	0	24,313
H19計	1,674	2,495	13,342	8,063	2,137	56	52	22	12	185	1,024	50	33	274	980	87	0	0	6,577	101	2,622	39,786
H20計	1,397	1,267	5,372	8,632	2,512	20	252	352	225	247	1,314	87	115	1,070	3,127	138	27	36	3,494	37	1,888	31,609
H21計	3,604	2,223	3,771	15,802	3,423	47	444	844	529	199	1,433	268	154	592	2,842	251	1	1	5,330	13	281	42,052
H22計	5,564	4,055	4,971	14,859	7,301	0	3,299	1,312	699	378	2,505	110	340	0	2,590	284	0	0	11,463	0	1,959	61,689
H23計	5,545	8,089	4,554	12,592	5,242	0	965	741	20	261	1,354	281	343	0	3,051	632	0	0	7,528	0	3,494	54,692
H24計	4,957	13,919	11,298	17,550	8,630	0	2,318	3,592	941	449	1,620	214	153	0	3,508	555	23	30	15,206	1,368	1,967	88,298
H25計	10,388	9,470	15,268	20,398	9,649	0	2,830	4,746	1,189	1,081	1,893	653	325	0	5,664	727	46	46	19,929	890	3,047	108,239
H26上半期計	2,778	10,127	7,782	6,288	544	9	317	2,446	82	16	228	39	31	0	506	87	15	0	285	14	43	31,637



現状と課題および対策

現状と課題	対策の柱	対策・予算
観光客の増加、特に外国人観光客の急増 ・JRニセコ駅のオペレーション対策 ・タクシー不足等による交通難民等	受け入れ態勢強化	増加する観光客(特に海外から)に対応しうる観光案内の充実、多言語化、観光協会の強化
	受け入れ環境整備	観光施設適正管理(ビュープラザ改修準備、さくらんぼの木保全、綺羅乃湯改修等) 安全対策(ニセコルールの普及。啓蒙) 観光地の美化
	2次交通の整備	湯めぐり号支援 グリーンバイクの電動化試験運行(H26補正)
入込時期の平準化等 ・入込客の落ち込む春と秋	地域振興事業の推進	観光協会が実施する地域振興事業への支援 ニセコフェスティバル、ハロウィン、アイアンマンレース、カウパレード等の協賛・支援 ※SLニセコ号休止
	効果的なPR継続	札幌圏、首都圏イベント参加・支援 海外プロモーション・ファムトリップ対応 観光・温泉大使、応援団体の活動支援等
	MICEの推進	国際会議やチームビルディングプログラムの支援
広域的な対応	広域観光の推進	ニセコ観光圏による各事業推進

H27年度観光予算の概要（もっと知りたい今年の仕事H27版）

◇観光審議会・戦略会議の開催 11万円 前年度予算額 11万円

町では観光施策を円滑に進めるため、町長の附属機関として観光審議会を設置しています。観光審議会では観光や経済の関係者のほか、町民のみなさんなどが参加し、さまざまな目線で議論を行っています。

また、機動的に観光政策を実現していくため、審議会のほかに町民のみなさんで組織するニセコ町観光戦略会議を設置し、実現可能な政策を積極的に推進していきます。”

【主な経費】

委員報酬 9万円

会議費 1万円

費用弁償 1万円

◇観光案内所の運営 794万円 前年度予算額 712万円

町の玄関口である道の駅ニセコビュープラザと外国人観光客の利用増加が著しいJRニセコ駅に観光案内所を開設し、町を訪れる観光客に対してきめ細やかな情報提供を行います。

【主な経費】

委託料 794万円



H27年度観光予算の概要（もっと知りたい今年の仕事H27版）

◇道の駅ニセコビュープラザの管理 1665万円 前年度予算額 1483万円

道の駅ニセコビュープラザは、特産品・農産物などの販売を通じて、地域経済の活性化に貢献しています。利用者は年間60万人を超えます。道の駅として必要な機能を利用者のみなさんに提供するとともに、ニセコ町の玄関口としての機能を確保するため、適切な管理を行います。”

【主な経費】※財源 施設使用料 317万円、私用電気料など 20万円、施設管理負担金 80万円

光熱水・通信・燃料費 506万円

修繕費など 44万円

清掃・警備・除雪などの委託費 1,079万円

保険など 36万円

～「道の駅」による地域活性化の拠点形成モデルとして、
「ニセコビュープラザ」が「重点道の駅」に選定～

国土交通省が、「道の駅」の機能強化を図るため、地域活性化の拠点となる先駆的な取組を重点「道の駅」として選定。

⇒ 取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、関係機関が連携し、重点支援

全国1040中、35か所のみ選定、北海道からは3か所（うち既存施設はニセコビュープラザのみ）

2月に東京で開催された認定証授与式（太田大臣と）→



H27年度観光予算の概要（もっと知りたい今年の仕事H27版）

◇さくらんぼの木保全事業 233万円 前年度予算額 0万円

「さくらんぼの木」は、残すべき大切な景観として、町のふるさと眺望点に指定されています。しかしながら、この木は年々弱ってきており、このまま放置すれば枯れてしまう恐れがあります。町では樹勢を回復させる手当として、根の管理や客土の投入などを行います。”

【主な経費】

樹勢回復工事 210万円

樹医診断費用 23万円

※財源（未定）地域づくり総合交付金 100万円



◇ニセコ駅前温泉綺羅乃湯の管理 236万円 前年度予算額 114万円

綺羅乃湯は開業から14年が経過し、設備などの劣化が進んでいます。

利用者の安全と快適性を確保するために施設の営繕工事を行います。

【主な経費】

脱衣棚改修など営繕工事 200万円

AED購入(更新) 36万円

◇五色温泉インフォメーションセンターの運営 315万円 前年度予算額 271万円”

ニセコ連山の登山の拠点施設であるニセコ町五色温泉インフォメーションセンターを維持管理します。

この施設は指定管理者制度により、展示休憩施設としての利便性を高めるためスタッフを配置し、エリアの観光や気象情報などを提供しています。

■開館期間:6月1日～10月31日

■開館時間:午前8時～午後5時

【主な経費】

管理委託料 206万円

光熱水・通信費 28万円

除雪・くみ取りなど 27万円

AEDなど備品購入 41万円

その他の事務費 13万円



H27年度観光予算の概要（もっと知りたい今年の仕事H27版）

◇その他の観光施設の維持管理 829万円

町が管理するさまざまな観光施設を適切に維持するための経費です。今後もみなさんが快適に利用できるよう、適正に維持管理を行います。

■町が管理する施設

- ・ニセコ野営場
- ・ニセコ駅（一部）
- ・ニセコアンヌプリ温泉源
- ・観光看板など

【主な経費】

野営場管理委託 131万円

光熱水費 402万円

アンヌプリ公衆トイレ営繕 63万円

各施設修繕費 62万円

公用車車検など 54万円

羊蹄山管理保全協議会負担金 22万円

消耗品費 28万円

使用料などその他経費 67万円

※財源 使用料など 640万円、JR除雪費負担額 25万円



◇観光地の美化 56万円 前年度予算額 49万円”

美しい景観はニセコ町にとって重要な地域資源であることから、観光客が多く訪れる東山、アンヌプリ、モイワ地区や駅前などで住民のみなさんが主体となって行う花の植栽活動を支援し、景観向上を図ります。”

【主な経費】

花苗などの購入 49万円

花樽の購入 6万円

その他経費 1万円

H27年度観光予算の概要（もっと知りたい今年の仕事H27版）

◇観光地の安全対策 50万円 前年度予算額 25万円

町では雪崩による事故を防止し、ニセコを訪れるスキー客の安全を確保するため、雪崩情報の提供など組織的に行っている
「ニセコアンヌプリ地区なだれ事故防止対策協議会」の活動費の一部を負担します。

【主な経費】

負担金 50万円



◇地域内2次交通の整備 70万円 前年度予算額 69万円

昨今、観光客の中にはホテルに留まるのではなく、食事や温泉を楽しむために市街地区や各温泉郷へ出かけたいという要望があります。これらの需要の広がりは、地域経済への波及効果を大きくする働きがあり、今後さらなる拡大を図る必要があります。そのためには、スキー場エリアとほかの地区を結ぶ2次交通の確立が喫緊の課題となっています。町では観光関係団体等と連携し、2次交通確立の取り組みを支援します。

【主な経費】

バス運行(ユナイテッドシャトル・温泉めぐり路線)補助金 70万円

◇ニセコグリーンバイク+(プラス) 210万円 ※H26補正事業

ニセコ町は環境モデル都市として、2050年度までにCO2の排出量を86%削減(1990年度比)することを目指している(「ニセコスマートチャレンジ86」)。昨今、増えている観光客の多くは自家用車やマイカーを利用してニセコを訪れており、CO2削減に逆行している。これは各地からニセコまでの公共交通手段が不便であり、町内における2次交通網の整備が進んでいないことなどが要因として考えられる。便利でかつニセコを楽しめる2次交通手段を確立することは、観光客の満足度を高めるだけでなく、CO2削減にも寄与する。従来の「ニセコグリーンバイク」は放置自転車の再利用から始まったもので、一方通行の「下る」ことを前提とし、移動手段としては大きな制約を受けるなどその効果は限定的なものになっている。

「ニセコグリーンバイクプラス」は、電動アシストや電動原動機付自転車を利用し、これまで対応することができなかった双方向の移動やCO2の削減を一步進めて実現させるためのチャレンジである。

H27年度は実証実験として運用開始、2年目以降は有料化など事業化を想定している。

【主な経費】

電動アシスト自転車購入等(5台程度想定)

H27年度観光予算の概要（もっと知りたい今年の仕事H27版）

◇観光振興活動の支援 418万円 前年度予算額 111万円

町内では、実行委員会などによりさまざま観光イベントが開催されています。町ではこれらの活動を支援し、観光分野の魅力向上を図ります。また、国際的なアートイベント「カウパレード」や、国際的なトライアスロンレース「アイアンマン ジャパン」(8月)が昨年度に引き続きニセコエリアで開催されることから、協賛と参加者へのPRを行う予定です。

【主な経費】

観光協会地域振興事業補助 278万円

ニセコフェスティバル事業補助 50万円

ハロウィンカボチャ購入 50万円

イベント協賛(カウパレード、アイアンマン) 40万円



“カウパレード”は世界で最大規模のパブリックアートのイベントであり、15年以上続いています。これまで世界各国70都市・観光地で行われ、ニセコでの開催は北海道初の試みとなります。

◆協賛のメリット

- ・ 国内外の大型ターゲット市場への露出効果
- ・ ニセコエリアの様々な企業への露出効果
- ・ イベント開始前・開催中の広範囲なメディアプロモーション
- ・ 月間130,000以上のヒット数を誇るNisekotourism.com と cowparade.com による 人気ウェブサイトを通じての広範なプロモーション
- ・ 世界中で60,000人を超えるカウパレード・フォロワー（ファン）へ、メールを通じた 宣伝広告効果への期待
- ・ 成長中のニセコブランドと既に存在しているカウパレードの知名度とのポジティブな連携関係
- ・ ニセコブランドの知名度を安定させる良い機会
- ・ ニセコエリアのビジネスの経済効果を上げる良い機会

H27年度観光予算の概要（もっと知りたい今年の仕事H27版）

◇ニセコ観光魅力アップ事業 75万円 前年度予算額 150万円

民間事業者の活力・発案を生かした、これまでにない新たな視点からの観光地づくりを行うとともに町内事業者間の連携体制強化を図ることによって、国際競争力の高い魅力ある観光地を形成するため、事業者自らが実施する観光振興に係る事業を支援します。

- ・申請時期：4月～随時
- ・補助対象者：町内に活動拠点を有する観光事業者、団体
- ・補助対象事業：次の各号全てに該当するもの
 - (1) 地域資源を活用し、新たな観光資源の創出や魅力向上または観光誘客促進に繋がると認められる新規事業
 - (2) 観光産業など町の経済へ相当な波及効果が認められるソフト事業
- ・補助率及び補助上限額：補助対象経費の5分の4を補助(上限150万円)

※平成26年度に採択された事業(参考)

飲食店活性化事業(テーブルサーチNiseko)、中央地区活性化事業(シーニックナイト)

【主な経費】

観光振興事業への補助 75万円



H27年度観光予算の概要（もっと知りたい今年の仕事H27版）

◇観光誘客の実施 749万円 前年度予算額 556万円

観光産業は、地域経済の柱の一つです。これからも多くの人に、継続してニセコを訪れてもらえるよう、PR活動の実施や地域の魅力を常に掘り起し、発信する媒体の整備などを行います。

【主な経費】

観光パンフレットなど作成 373万円

旅費 52万円

PR用景品など作成・購入 63万円

広告費 40万円

関係団体の負担金・補助金 113万円

職員時間外勤務手当 80万円

その他誘客事業経費 28万円

◇MICEの誘致 16万円 前年度予算額 15万円

MICE(マイス)とは「M:ミーティング」「I:インセンティブ」「C:コンベンション」「E:イベント」を組み合わせた造語です。札幌市や倶知安町などと連携して会議やイベントを誘致することで、観光振興を図ります。

【主な経費】

旅費 11万円

アトラクション謝礼 3万円

日本コンベンション協議会負担金 2万円

H27年度観光予算の概要（もっと知りたい今年の仕事H27版）

◇観光・温泉大使、応援団体の活動支援 27万円 前年度予算額 24万円

町では、ニセコ町を町外から応援してくれる人を観光大使として任命しています。現在、成瀬瞭さん(元ホテル日航アンヌプリ社長)、林家木久扇さん(テレビ番組「笑点」でおなじみの落語家)、東京ニセコ会役員13人の計15人に観光大使として活躍いただいています。また、豊富な泉質が自慢であるニセコの温泉を広くPRするため、温泉アナリストの久世進さんを温泉大使に任命しています。両大使には、さまざまな場所でニセコ町の魅力をPRしていただいたり、町の観光振興やまちづくりに対して積極的に意見をいただいたりしています。

また、首都圏在住でニセコ町に関わりのある人たちが構成される東京ニセコ会の開催を支援し、首都圏でのニセコ町出身者などの交流を促進します。

【主な経費】

観光大使名刺印刷 12万円

消耗品 3万円

全国ふるさと大使連絡会議負担金 1万円

東京ニセコ会負担金 11万円

◇北海道産直フェアへの出展 54万円 前年度予算額 64万円

東京ニセコ会と連携し、東京都内で開催される「北海道産直フェア」に出展して観特産品のPRを行います。

■開催期間:平成27年10月上旬

■開催会場:東京都代々木公園

【主な経費】

旅費 14万円

東京ニセコ会への補助 40万円



H27年度観光予算の概要（もっと知りたい今年の仕事H27版）

◇地域観光連携事業(ニセコ観光圏、観光局) 797万円 前年度予算額 453万円

昨年7月、ニセコ町、倶知安町、蘭越町の3町は国から「ニセコ観光圏」の認定を受けました。「観光圏」とは、自然・歴史・文化などにおいて密接な関係のある観光地を一体として認定し、区域内の関係者が連携して、魅力ある観光地域づくりを行うものです。

今年は3町や各事業者が連携をして、調査事業やPR事業などを行い、観光客入込の増加を図ります。

【主な経費】

観光圏負担金 116万円

経済波及調査などの負担金 144万円

ポスター・DVD作成 277万円

観光局負担金 125万円

PRなどの事業負担金 135万円

※財源 観光地域ブランド確立支援事業補助金 110万円

※別途観光圏資料で説明【資料2】

H27年度観光予算 64百万円（前年比当初 +28%） ※観光圏含む

当初予算推移(万円)

